

平成30年度後期 START/START+プログラム一覧

※平成30年9月現在の予定です。プログラム内容は予告なく変更する可能性があります。

プログラム名/ 研修先大学等	渡航期間/定員/ 参加費 (*注)	主な研修内容 (予定)	引率	宿泊場所	研修先大学等の紹介	研修先地域・都市の紹介
第58回 オーストラリアの多文化 社会 フレリダース大学 (オーストラリア)	2月22日(金)～ 3月11日(月) (17泊18日) 定員: 30人 参加費: 15万円	<ul style="list-style-type: none"> ◆フレリダース大学附属語学学校の教員による特別授業 ◆オーストラリアの直面する諸問題、歴史、教育、英語研修 ◆プレゼンテーション・ディスカッション技能の習得 ◆フレリダース大学の学生とのディスカッション・交流 ◆フレリダース大学の通常授業への参加 ◆現地小学校での日本文化紹介 ◆アデレード市内での研修(南オーストラリア博物館、ランドル・モール等) ◆アデレード周辺地域のエクスカージョン(ワイルドライフパーク等) ◆全期間ホームステイ 	総合戦略室 渡邊恵 講師 ほか	ホームステイを予定 (1~2人/家庭) ※他国留学生と同家庭 の場合もあります	<p>【フレリダース大学】 http://www.flinders.edu.au/ アデレード市街の郊外に位置する1966年創設の公立大学。大学名は、19世紀初頭にオーストラリアを船で周回し、この大陸を「オーストラリア」と呼ぶことに貢献した探検家マシュー・フレリダースに由来しています。革新的で質の高い授業内容と教授法に長けがあり、宇宙飛行士の毛利衛氏が博士課程を修了したことも知られています。学部は、教育・人文・法学部、医・看護・健康科学部、理工学部、社会・行動科学部などで構成。移民と大洋の国であるオーストラリアを象徴するように、世界でも珍しい海洋考古学などの専攻もあります。世界100カ国以上から留学生が集まり、留学生約4,100名を含む約24,000名の学生が在籍(2014年統計)。なお、広島大学とは2008年から協定を結んでいます。</p>	<p>【アデレード市】 アデレードは南オーストラリア州の州都で、人口は120万人、国内5番目の都市。「自由移民」によってつくられた街です。都市名は19世紀前半の英国王妃の名に由来しています。計画設計都市であり、市街は整然とした格子状の街路と公園で構成され、ヴィクトリア期のコロニアル様式の建築が多数残っています。中心部の歩行者街路「ランドル・モール」にはヨーロッパ風のアーケード街もあります。また、アデレードには、アメリジニの美術や工芸に関する世界一のコレクションを誇る南オーストラリア博物館も存在し、文化施設も充実しています。郊外には、アデレードヒルズという美しい丘陵地帯、海浜リゾート地グレネルグがあり、自然に親しむこともできます。オーストラリアの野生動物の多くが棲むカンガルー島へのアクセスもこの街が基点となっています。</p>
第59回 ニュージーランド-自然 との共生社会- オークランド大学 (ニュージーランド)	3月1日(金) ～3月18日(月) (17泊18日) 定員: 30人 参加費: 19万円	<ul style="list-style-type: none"> ◆マオリ文化による歓迎儀式 ◆オークランド大学教員による特別授業・NZの歴史、教育、文化 ◆英語研修 ◆現地学生とのディスカッション・交流 ◆オークランド大学の通常授業への参加 ◆小学校訪問と日本文化紹介プレゼンテーション ◆Walter Duntzki 先生によるNZの歴史・文化に関する施設訪問による研修 ◆オークランド郊外の自然の中でアウトドア活動体験 ◆全期間ホームステイ 	教育学研究科 Brett Walter 講師 ほか	ホームステイを予定 (1~2人/家庭) ※他国留学生と同家庭 の場合もあります	<p>【オークランド大学】 http://www.auckland.ac.nz/ 1883年に創設されたオークランド市街に位置するニュージーランド最大規模の国立大学。2016-17年のQS世界大学ランキングは82位、国内で最上位の大学です。研究を主導し、その卓越した教育および社会への貢献で知られています。キャンパスは6つあり、教育、人文、法、経済・経営、芸術・芸術工学、工、理、神、医学・健康の9学部によって構成され、留学生6,010名を含む約44,000名が学んでいます(2014年統計による)。広島大学とは1979年から協定を結んでいます。</p>	<p>【オークランド市】 ニュージーランド北島に位置し、人口約150万人の商業地区を有するニュージーランド最大の都市。海に面した地形から海上交通が栄え、「帆の街」という愛称で親しまれており、港には多数の小型船舶が停泊し、ハーバークルーズやセーリングが盛んです。オークランド博物館やホウック歴史村など居住民や開拓民、戦争に関する施設があります。郊外には、アデレードヒルズという美しい丘陵地帯、海浜リゾート地やワン・トゥー・ヒル、市街地の対岸に位置する歴史的町並みの残るデボンポートがあります。</p>
第60回 台湾の宗教と東アジア 国立中央大学 (台湾)	3月3日(日) ～3月17日(日) (14泊15日) 定員: 24人 参加費: 7万円	<ul style="list-style-type: none"> ◆台湾の寺院の参拝。 ◆台湾の原住民族と移民、そしてそれぞれの信仰、伝統文化と相互の融合を考える。 ◆中国語または英語研修(中国語クラスと英語クラス分けあり) ◆現地教員による講義 ◆国立中央大学学生との英語、中国語、日本語による交流。 ◆台湾南部地方への研修旅行(2泊3日) ◆文化体験研修 ◆台北市内グループ研修 <p>※輔仁大学で中国語研修(3月中旬～3月末頃の約2週間)が実施される場合、連続して参加することも可能(費用は別途1～8万円程度。プログラム実施の有無は後日揭示します)</p>	総合科学 研究科 荒見泰史 教授 ほか	国立中央大学の学生宿 舎を予定	<p>【国立中央大学】 国立中央大学は、1915年に中国南京で創立された南京師範高等学校を前身として、1962年に台湾で中央大学地球物理研究所として復活し、更に1979年には正式名称も国立中央大学と称され、高等教育と研究機関として誕生し、国立総合大学として現在に至っています。現在、文学、理学、工学、経営、保健科学等8つの学部と多くの研究所を有し、最先端の学術・研究を行っている国内トップクラスの大学として知られています。また、北米・欧州・アジアの世界180以上の大学を協定を結んでおり、広島大学とは2009年から協定を結んでいます。</p>	<p>【桃園市】 中華民国北西部に位置する、中華民国行政院の直轄市。台湾の中心的都市である台北市の西に位置しており、台湾の空の玄関口である台湾桃園国際空港が立地している。</p> <p>【台北市】 台湾最大の都市圏である台北市圏の中核都市であり、アジア屈指の世界都市でもあります。台北市には、近代的大通りの風景が見られるだけでなく、火山地形と知られている陽明山国家公園や「故宫博物院」など多数の観光地があり、モダンと伝統が織り成すコントラストを感じられる都市です。</p>
第61回 ベトナム戦争の痕跡と ホーチミン市の発展を体 感する ベトナム国家大学ホーチミン市校 人文社会科学大学 (USSH)、広島大学ベト ンセンター(ベトナム)	3月5日(火)～ 3月20日(水) (15泊16日) 定員: 24人 参加費: 6万円	<ul style="list-style-type: none"> ◆USSHの教員による授業 ◆ベトナム語入門 ◆ベトナムの社会と文化、経済、ホーチミン市の歴史、戦争体験談、日越関係 など ◆ベトナムの学生とのディスカッション(平和な世界を作るために私たちに出来ること、日本とベトナムの環境や学生生活の違いについてなど) ◆戦争関連施設等見学 ◆戦争証跡博物館、統一会堂(旧南ベトナム政府大統領官邸)、カンザー自然保護区、クテンネル、歴史博物館など ◆日系企業、JICA訪問 ◆現地学生との交流、1日ホームビジット、孤児院訪問 ◆ホーチミン市内グループ研修 	教育学研究科 BABALOLA MICKY AMUNE 助教 ほか	大学から徒歩圏内の学 生宿舎(2人1部屋)を 予定	<p>【ホーチミン市人文社会科学大学(USSH)】 http://en.hcmussh.edu.vn/ ベトナム国家大学ホーチミン市校(VNU HCMC)の中の専門大学の一つ。ロシアやポーランド、アメリカ、オーストラリア、フィリピン、韓国、日本など世界中の様々な国出身の教員による18学科500科目の授業が行われています。USSHには日本語部があり、日本に興味を持った勉強している学生もたくさんいます。2010年11月に広島大学ベトナムセンターをUSSH内に開設しました。</p>	<p>【ホーチミンシティ】 ベトナム戦争終結後、1975年に解放されるまでは首都「サイゴン」として栄えたベトナム最大の商業都市です。フランス植民地時代のコロニアル様式の建物に代わり現在は高層ビルが増えましたが、市場や裏通りには昔と変わらない街並みも残っています。通りやロータリーはバイクであふれかえっており、経済成長の熱気を肌で感じられる都市です。</p>
第4回START+(プラス) 欧州統合と自治・スペイン /カタルニアの政治・ 文化・芸術 ロビエラ・イ・ビルジリ 大学(URV) (スペイン)	2月15日(金)～ 3月3日(日) (16泊17日) 定員: 24人 (1・2・3年生対 象) 参加費: 15万円	<ul style="list-style-type: none"> ◆URV教員による授業 ◆スペイン語(レベルにより2クラス) ◆カタロニア・スペインに関する授業(英語) ◆文化(モダニズム(ガウディ)、ユネスコ無形文化遺産としての地中海料理)、宗教と現在の生活、歴史(近代+カタロニアとスペイン)、ツーリズム(世界遺産とツーリズム)、ローマ帝国とCivil Engineering等4-5のトピック) ◆ワークショップ(毎日)スペイン人学生と授業内容・スペイン語レッスンについて(日本人学生4-5名に対しスペイン人学生1名) ◆スペイン内戦跡地での平和研修 ◆レウスでの研修(モダニズム建築) ◆バルセロナでのグループ研修 ◆全期間ホームステイ 	社会科学 研究科 西谷元 教授 ほか	ホームステイを予定 (2人/1家庭) ※他国留学生と同家庭 の場合もあります	<p>【ロビエラ・イ・ビルジリ大学(URV)】 http://www.urv.cat/en_index.html 1991年にカタロニア自治州政府によって新たに設立されたカタルニア地方の名門公立大学。16世紀を起源とするタラゴナ市の復活とされ、現在は、40以上の学部・コースと50の修士課程・コースとその後の博士大学院、そのほかにも生涯学習コースなどがあり、15,000人以上の学生が学んでいます。教育の高さやその卓越した研究活動により、カタルニア地方だけでなくヨーロッパの中でもトップクラスの大学とされています。広島大学とは2015年から協定を結んでいます。</p>	<p>【タラゴナ市】 タラゴナはスペイン・カタルニア州タラゴナ県にあり、バルセロナの南約100kmに位置する地中海沿いの風光明媚な町です。古代ローマ時代は「タラゴラTarraco」と呼ばれ、イベリア半島最大の都市として君臨していました。今でも町のあちこちにローマ時代の遺跡が残っており、それらは「タラゴラの考古遺跡」として2000年にユネスコの世界遺産に登録されています。地中海の青い海を背にした円形競技場、タラゴナを代表する風景です。毎日良好に保存されている遺跡からは当時の繁栄ぶりを窺い知ることが出来ます。人口は約11万人。</p>
第5回START+(プラス) カンボジアで学び実践する 国際教育協力(1): 教育の実態把握とプロ ジェクト立案 広島大学—カンボジア王 国教育、青年、スポーツ 省連携センター 他 (カンボジア)	2月24日(日)～ 3月4日(月) (8泊9日) 定員: 10人 (2・3年生対象) 参加費: 10万円	<ul style="list-style-type: none"> ◆カンボジアの教育や国際教育協力で活躍する人たちが学ぶ。 ◆カンボジア教育省、シェムリアップ州教育局訪問・講義 ◆フンベンTEC(Teacher Education College)訪問・講義 ◆JICAカンボジア事務所訪問・講義 ◆現地で活動する教育系NPO法人等訪問・講義 ◆カンボジアの学校等で自分たちで調査する。 ◆現地小学校等で実地調査 ◆カンボジアの学生たちとともにプロジェクトを構築する。 ◆現地学生(TEC、RUPP)との交流・協働 ◆PCM-PDMワークショップで、プロジェクト・サイクル・マネジメント(PCM)に基づき、プロジェクト・デザイン・マトリックス(PDM)によるプロジェクト計画・評価を構築する。 ◆その他 ◆シェムリアップでの歴史文化研修(世界遺産アンコールワット等の足跡訪問) ◆フンベンでの平和学習(トゥール・スレン虐殺犯罪博物館訪問) ※一部「PEACE学生交流プログラム カンボジア・スタディツアー」との合同実施 	教育学研究科 桑山尚司 講師	ホテルを予定(2人/1 室)	<p>【カンボジア教育・青年・スポーツ省(MoEYS)】 教育行政を司るMoEYSでは、広島大学で学び学位を取得した留学生が多数活躍しています。また、様々な広島大学教員が、JICAの理数科教育支援、NPOの教育行政大学院設置支援、広島県の社会科教科書開発支援等では、MoEYSに協力してきました。2016年に包括協定を締結、2017年に連携センターを開設しました。 【フンベン教員養成大学(P-TEC)】 2018年11月にフンベンに設立予定の教員養成大学。同国の小・中学校教員養成は、2年制から4年制に移行する教育改革の過程にあります。新しい4年制大学であるTECが、同国でこれからの教育を支える教師を育てていきます。広島大学はJICAによるTEC設立のための基盤構築事業にも協力しています。 【王立フンベン大学(RUPP)】 1960年、シムヌク前国王によりフンベンに設立された王立大学。理学、人文・社会科学、工学、教育、開発学を学ぶコースと外国語研究所からなり、同国の高等教育機関の中心。広島大学とは2016年から協定で留学交流を行っています。</p>	<p>【フンベン】 メコン川とトンレサップ川の合流点に位置するカンボジアの行政・経済の中心地。かつて「東洋のバリ」と謳われたフランス植民地時代の街並みは、長い内戦の歴史を経て、現在は同国の経済成長とともに建築ラッシュが続く。王宮とシルバー・バゴダ、ワット・フン、国立博物館等ではケムールの文化と信仰を、トゥールスレン元強制収容所、キング・フィールドでは内戦の歴史と平和の大切さを感じることが出来る。 【シェムリアップ】 シェムリアップは同国北西部に位置し、9世紀から15世紀に栄えたケムール王国の都であった。その遺跡は1970年代に見えない規模と寺院数を誇る。30年という年月と2万人の労力をもって造られたアンコールワットでは、完璧な建築技術と精巧な彫刻技法に目を驚かす。巨大で神秘的な四面塔で知られるバイオン寺院を中心とする城壁都市アンコール・トムでは、クメール王朝の栄華と実感を享けることが出来る。現在でもカンボジアの心と文化の拠り所であり、観光地として発展しつつある。</p>

(*注) 参加費には国内交通費を含みません。参加費のほかに、自己負担費用として、海外旅行保険料、パスポート申請費、日本国内交通費、現地交通費、お小遣い(食費含む)などがかかります。